

小学校の統合に向けた地域説明会（合川小学校 11月27日開催分）
結果概要

- 日 時：令和4年11月27日（日） 10：00～11：30
- 場 所：合川小学校 屋内運動場
- 対 象：小学校の保護者，入学予定者の保護者，学校運営に携わった方，
地域の方々
- 参加人数：52人
- 出席者：・教育委員会事務局
教育長
教育次長
参事
参事兼教育政策課長
教育政策課主幹兼政策推進グループリーダー
学校教育課副参事兼教職員グループリーダー
教育指導課副参事兼指導グループリーダー

・事務局
教育政策課政策推進グループ

○開催概要：次のとおり

- 1 開会
- 2 出席者紹介
- 3 教育長挨拶
- 4 資料説明（これまでの経緯，再編の考え方，今後の取組等）（教育政策課長）
- 5 質疑応答
（参加者）
 - ・本年度の広報11月5日号に来年の小規模特認校の募集について掲載されていたが，その中で募集開始時期は，11月4日となっていた。広報が配られる前に募集が始まっていることになるため，今後は周知の時期を早めてほしい。
 - ・本年度の小規模特認校利用希望者は何人いるのか。
（教育委員会事務局）
 - ・広報への掲載時期については，今後改善に努めたい。
 - ・小規模特認校制度の利用について，3人ほど見学に来ていたと聞いている。
 - ・見学に来た3人の方は，現在，合川小学校に入学するか検討いただいている段階であると聞いている。
（参加者）
 - ・令和8年度を目途に統合するのではなく，もっと地域と話し合いをして納得させてほしい。
 - ・全国的にもニュースになっているが，スクールバスにおける児童の置き去り問題への対応などを心配している。

(参加者)

- ・今日は統合について、納得させるための説明会なのか。

(教育委員会事務局)

- ・今回の説明会は、教育委員会としての現状の考え方をお示しさせていただくものである。
- ・本日お示しさせていただいた再編の考え方は、決定事項ではない。

(参加者)

- ・調整区域の規制が緩和され、三宅地区にも新しく住宅が3軒ほど建ってきた。
- ・廃校は地域を壊していく。
- ・交通の便が良い近鉄沿線の地域は、海沿いの地域であり、津波による危険がある。市としては、そのような危険な地域ばかりを残すのか。
- ・亀山市は、以前からいくつかの小学校において複式学級を実施している。
- ・小学校で複式学級を経験した後に、中学校に進学した生徒はリーダーシップをとるのが上手いと聞いている。
- ・複式学級は、教育する側から見ても、それほど負担になるものではないのではないか。
- ・再編案は、空き教室が十分にある郡山小学校に統合するといった安易な意向ではないか。
- ・天名小学校と合川小学校の中間地点に、建設費が多くかかる鉄筋コンクリートの校舎ではなく、木造の平屋で校舎を建ててはどうか。
- ・亀山市は複式学級を実施している一方、なぜ鈴鹿市では複式学級を実施できないのか。これまでの説明会や意見交換の機会に、質問をしているが回答をもらっていない。

(教育委員会事務局)

- ・本市では、アンケートの実施や、地域の方々との話し合いなど様々な取組を積み重ねてきた。
- ・教育委員会としては、それらのお考えを踏まえた上で、一定規模の集団の中で、クラス替えのできる規模の教育環境を提供したいと考えている。

(参加者)

- ・個人的には、好きにすればいいと思っているが、先ほどのような意見を持つ住民もいることを十分留意の上、検討をしていただきたい。
- ・今回の説明資料の中には、以前の懇談会の際の資料には掲載されてなかった天栄中学校区のアンケート等の内容が示されている。
- ・アンケート結果については、賛成意見よりも、反対意見をいかに拾い上げ、納得してもらうことが大切ではないか。
- ・学校再編を契機に、この小さい地区が割れるのを避けたい。
- ・以前、自治会での説明の際に、亀山市や津市など他の地域の学校再編に関する実態を調査研究し、良い点や悪い点を整理してほしいと伝えたところである。

(参加者)

- ・先ほどの回答の中で、「統合は決定ではない。」という話があったが、統合を中止できると期待して混乱が生まれてしまうのではないか。

- ・ 令和8年4月に統合という方向性が資料に示されている。
- ・ 方向性が決まっているなら、その方向性に向かって、保護者、地域、学校は協力していける。
- ・ しかし、決定していないと言われると、保護者は混乱し、結果、最も大事にしないといけない子どもたちの混乱につながる。
- ・ 私は、保護者として、小規模特認校制度を活用し、校区外から合川小学校に子どもを通わせたいとの思いで、この学校を選んできている。
- ・ 合川小学校が無くなることは寂しいが、統合が決まっているのであればそれに協力していく。
- ・ 合川小学校の地域の方は、学校活動に協力的である。
- ・ 再編の方向性が決まれば、保護者・地域・学校が一丸となって検討できると思う。
- ・ 私たちは何に向かって検討していけば良いのか、示してほしい。
(教育委員会事務局)
- ・ 今回、お示しさせていただいた再編の考え方の方向性で、進めさせていただきたいとの思いの下、提案をさせていただいている。
- ・ これまでも情報提供については、あらゆる機会を捉えてさせていただいてきたと認識しているが、今後は、より一層、しっかりとやっていきたいと考えている。
- ・ 学校のあり方について、様々な心配があると思うが、今後も一つ一つ丁寧に説明ができるよう取り組んでいきたいと考えている。
(参加者)
- ・ 令和8年4月に統合する方向について、3点意見を申し上げたい。
- ・ 教育長の挨拶や説明に、「これまで保護者や地域の意見を聞いてきた。」とあったが、統合の方向で進めるのであれば、今後、学校や保護者に任せるのではなく、教育委員会主導で統合に向けた連携を図っていただきたい。
- ・ 2点目、合川小学校の遊具や校舎が傷んできている。統合が決まったとしても、今、合川小学校に通う子どもたちが快適に過ごせるように十分な環境を提供してほしい。
- ・ 3点目、合川小学校において、令和6年の複式学級発生に向けて準備をしていると聞いている。
- ・ 市の方でも非常勤講師を採用することや、大学や大学生との連携を図ることで、教員や児童の負担を減らせるよう検討していただきたい。
(教育委員会事務局)
- ・ 1点目の連携については、しっかりと情報提供に努めさせていただきたいと考えている。
- ・ 2点目については、統合が決まったとしても毎日安全に子どもたちが過ごせるよう施設改修については引き続き努めていきたいと考えている。
- ・ 3点目の複式学級への準備については、教員の加配等を検討していきたいと考えている。
- ・ 教育委員会事務局としても、子どもたちが不安にならないように、また、学校現場の指導が円滑に進めていけるよう努めていきたいと考えている。

- ・ 現在、合川小学校では、校長を中心に、複式学級の授業の仕方等の研修を進めていると聞いている。

(参加者)

- ・ 統合案には、多様な考えや意見に触れるという意図があると思うが、少人数ではそのような多様な意見に触れることは難しいのか。
- ・ 小規模校でも多様な考えを学んでいる。多様な考え方の捉え方が狭いと感じる。
- ・ 今回の統合案は、学校をクラス替えのできる規模で揃えることで、多様性が失われ、画一的な考えになってしまうおそれがあるのではないか。
- ・ 規模が大きな学校で過ごしてきた児童がいる一方、小規模な学校で過ごしてきた児童がいる状態こそ、多様な考えが生まれるのではないか。

(参加者)

- ・ 「統合」という言葉を簡単に使ってほしくない。
- ・ 児童の気持ちを考えてほしい。
- ・ これから学校に入る子どもたちの気持ちを考えてほしい。

(教育委員会事務局)

- ・ 今後、児童数が減少していけば、現在行われている授業における班活動や学び合いの実施が難しくなる。
- ・ 私自身、以前に、加太小学校に勤務していた経験もあることから、縦割りの良さも認識している。
- ・ 本市としては、これまでの検討を踏まえて、まずは、合川小学校・天名小学校・郡山小学校の子どもたちが一緒に学ぶ場をつくり、次の段階に当たる南部全体の学校のあり方についても継続して考えていきたい。
- ・ 子どもたちには、方向性が決まった上で説明する。
- ・ 方向性の定まっていない段階の説明で子どもたちが混乱することを避けたいと考えている。
- ・ 方向性が決まったら、オンラインを活用した交流や、様々な機会を通じて3校の交流を更に充実させていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 統合案は、子どもたちのためということか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。
- ・ 一定規模の集団で、クラス替えのできる環境を目指していきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 一定規模の環境というのが、統合ということか。
- ・ 鈴鹿市としては、一定規模の環境を、至る所に用意することが多様性を育むということか。

(教育委員会事務局)

- ・ 学校生活の中で、様々な子どもたちと出会うことが、より良い多様性に触れ、そして、学ぶ機会につながると考えている。

(参加者)

- ・ 地域が統合案について、良くないと考えるのであれば、存続案もあり得るのか。

- ・ 今後どのように決定されるのか。
- ・ どのような方々が、この方針を決定するのか。
(教育委員会事務局)
- ・ 基本方針は、国から示された適正規模・適正配置に関する手引きや、本市の児童生徒数の中長期的推移の調査結果、アンケート、外部有識者等で構成される検討委員会からの提言を基に策定している。
- ・ 検討委員会には、児童数が少ない合川地区や天名地区の南部地域のほか、西部地区の学校関係者も委員として入っている。
- ・ 基本方針の中では、過小規模校を避けるように対応することが示されている。
(参加者)
- ・ 小規模特認校の立ち上げに関わった者だが、制度が始まった当時は英語の先生が3人いた。
- ・ 今は英語の先生が少ない。
- ・ 英語教育に対するやる気は、先生次第である。
- ・ やる気を出していただければ、小規模特認校としても活性化する。
- ・ 先生方の力で、教育は変わってくる。
- ・ 統合になれば、跡地はどうなるのかといった声も多く、跡地の利用についてどのような手段があるのか提案をしてほしい。
- ・ 自治会などの役を降りたら情報が伝わってこないことは地域の問題だと考えるが、情報共有の無い状態で、このまま進んでいくことによる今後の地域が心配である。
- ・ 今後、この地域はどうなっていくのかについても示してほしい。
- ・ 以前、合川地区は、家が建たないから児童が増えないと市長や教育長に伝えたこともある。行政も考えてほしい。
(参加者)
- ・ 過小規模が見込まれている合川小学校と天名小学校の2校が統合して、小規模校を目指すことはできないのか。
- ・ 小規模特認校制度を通じて、他の地域から合川小学校を選んでくれている方々の思いを大切にしたい。
(参加者)
- ・ この会場に統合に賛成している人はどれだけいるのか。
- ・ 資料に示されているアンケート結果との整合性はあるのか。
(参加者)
- ・ 今後も、本日のような機会はあるのか。
- ・ 自治会での説明会が月曜日の10時に開催されていたが、その開催案内が直前の土曜日に来た。
- ・ 丁寧に説明をしようとする姿勢が感じられない。
- ・ 亀山市は複式学級を実施しているが、鈴鹿市からすると間違っているという認識なのか。
(教育委員会事務局)
- ・ これまで自治会単位で説明をさせていただく機会や、家庭教育学級での説明機会

のほか、未就学の子を持つ保護者と意見を交換する機会などを設けさせていただいてきた。

- ・各市町において、それぞれの方針が策定されており、正解や間違いというものではない。

（参加者）

- ・鈴鹿市は、亀山市の方針に倣えないのか。

（教育長）

- ・本市では、学校規模適正化・適正配置に関する基本方針を策定し、検討を進めてきている。
- ・統合について、本日の説明会で決定するものではない。
- ・令和8年4月を目標に再編を進める案について、今後、市議会や関係機関に諮り、御意見を伺いながら決めていく。
- ・子どもたちは、多くの子どもたちと触れ合える環境で育てることで、多様な考えを受け入れ、生きる力を身に付けていけると考えている。
- ・今後は、説明会での御意見やアンケートの内容も踏まえて、説明をさせていただきたいと考えている。
- ・何とぞ協力をお願いします。

（参加者）

- ・学校が無くなることは、過疎地を増やすことにつながる。
- ・他県や他市の複式学級の調査をして、成功例を研究することで、経験のある教職員を配属させるなど、合川小学校で学びたいと思える学校にしてはどうか。

（参加者）

- ・合川地区で小学校の統合が議論され始めた際に説明会に参加したが、本日の内容は、その当時の説明内容から変わっていない。
- ・統合後の具体的な案を示してほしい。
- ・地域の方の意見に対して、この場をどうやり過ごすかを第一に考えた回答のように感じる。
- ・今、この場で、挙手にて統合について多数決をとることは出来ないのか。

（教育委員会事務局）

- ・このような中で多数決をとることは難しいと考える。
- ・配布させていただいているアンケートにて御意見を聞かせていただきたい。
- ・その内容については、公表させていただく。
- ・本日の説明会の場に来られていない方々もいらっしゃることから、これまでの状況も踏まえて、進めさせていただく。

（参加者）

- ・統合に反対している天名小学校区の者である。
- ・学校が無くなることは、地域のコミュニティが無くなることにつながる。
- ・リニア中央新幹線がこの地域に開通すれば、この地域の価値は上がり、一等地になるのではないか。
- ・この地域の田園風景は素晴らしく、教育委員会はこの風景を見ているのか。
- ・分校という形で、合川小学校と天名小学校を残してほしいとの提案を以前にした

- が、回答をもらっていない。
- ・ 地域を壊さないように手法を考えてほしい。
（参加者）
 - ・ 本日のようなオープンな話し合いの機会を引き続き設けてほしい。
 - ・ 自治会長や一部の人のみが検討の場に加わる形は止めてほしい。
 - ・ 情報が下りてこない。

以上